

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	東大演習林を学ぶ会		
タイトル	第4回例会-----郷台宿舎～元清澄山往復		
実施日時	平成29年3月4日（水）9時～16時		
実施場所	鴨川市		
受講者		F I C会員	8名

活動の内容

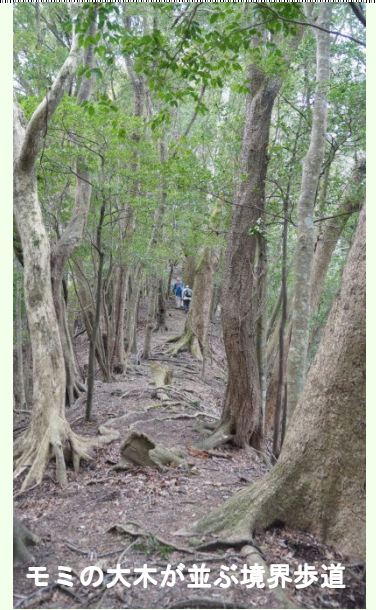
第4回例会は、清澄から郷台宿舎迄車で入り元清澄山まで往復する、全行程（車移動除く）約8.5km、累積標高差600mほどのコースを辿りました。

まず、郷台宿舎から少し猪ノ川林道を下った地点から急な斜面を沢（猪ノ川）に下り、猪ノ川を渡渉して対岸の三四林班境界歩道に取り付き、急傾斜の歩道を三石歩道目指して登るといふ、殆どのメンバーにとって初めての道です。三四林班境界歩道は標高差150m程度ですが、傾斜が30度程になる箇所もありなかなか登り甲斐があります。それでもしばらく登って傾斜の緩い尾根状の地点に出るとモミの大木が林立しており、なかなかの迫力を楽しめます。やがて三石歩道に到着、そこからは三石歩道の稜線を南に辿り、清澄から続く関東ふれあいの道と合流、郷台を出発して2時間40分ほどで元清澄山頂に到着しました。元清澄山は材木遺伝資源保存林、千葉県自然環境保全地域にも指定されている、モミ、ツガをはじめとする貴重な森林資源の宝庫です。また房総では珍しいアサダの成木も自生しています。

三石歩道は7年ほど前に観察会（野外講座）で歩いた道（その時は逆コース）ですが、3年前の大雪その他の自然現象でかなりコースが荒れていました。

まだ花の時期は始まったばかりでしたが、オニシバリ、シキミ、カンアオイなどの花、さらにコセリバオウレンも可憐な花を咲かせていました。

帰りは三石歩道を引き返し、さらに北上して地蔵峠まで達し、柚ノ木歩道を猪ノ川林道まで下り、さらに郷台宿舎に登り返しました。



モミの大木が並ぶ境界歩道



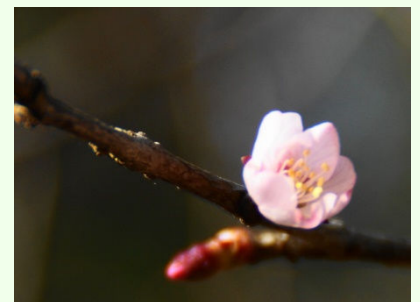
三石歩道に到着



オニシバリ



コセリバオウレン



猪ノ川林道の春 マメザクラ